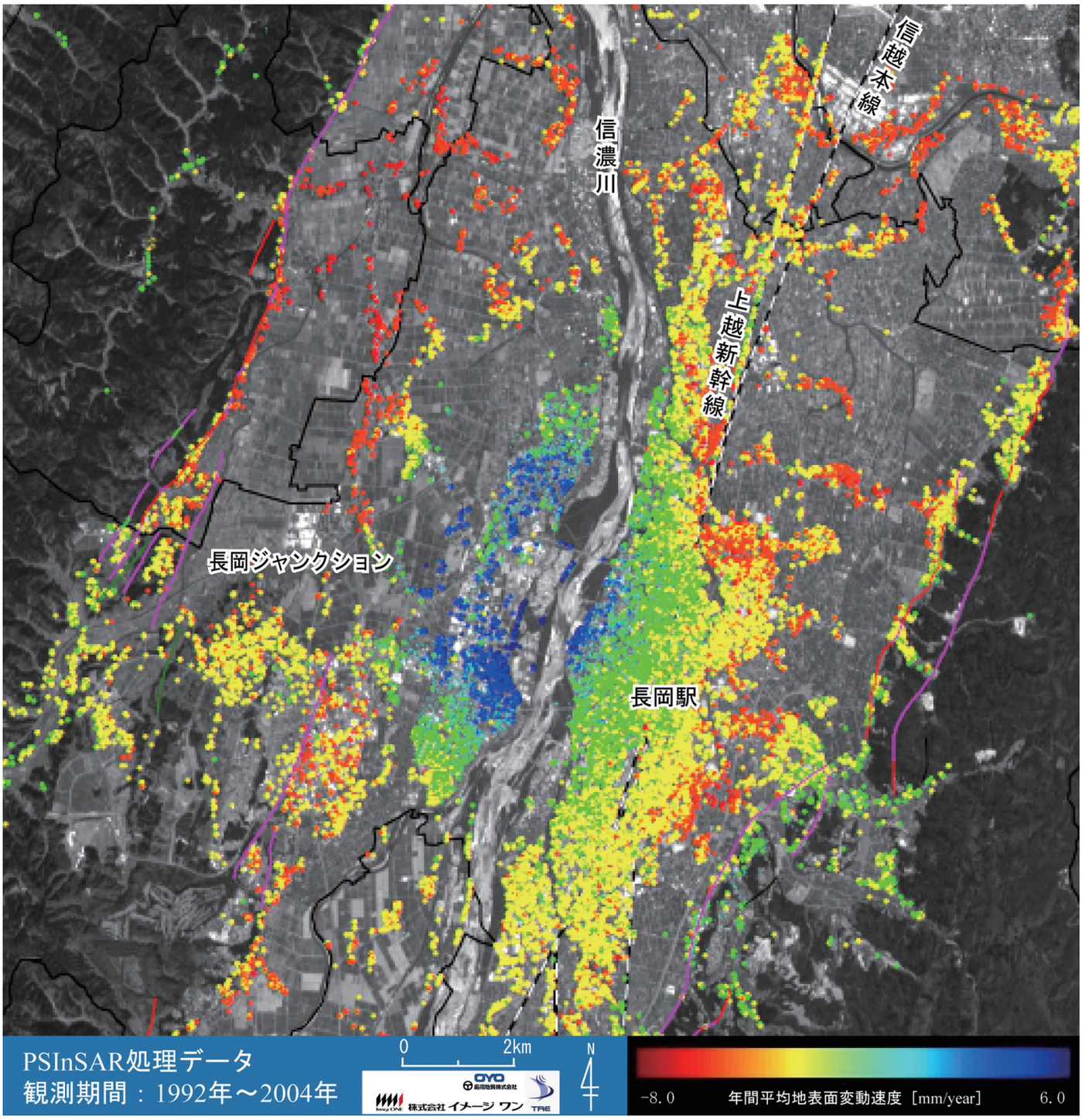
PSInSAR技術による地表面変動の計測（1）－新潟県長岡市周辺－

データ提供：株式会社イメージワン
データ編集：東京理科大学・国土情報工学研究会

本誌86号から開始しました「インターフェロメトリ技術（Interferometric SAR：InSAR）」による地表面変動計測事例の紹介も本号で最終となります。下図は1992年6月～2004年6月の間に観測されたSARデータ（人工衛星ERS1号、2号観測）を用い、PSInSAR（Permanent Scatterers InSAR）処理を通して計算した「年間平均地表面変動速度（mm／year）」を表しています。対象領域は新潟県長岡市周辺です。新潟県中越地震発生前（2004年10月23日発生）の処理結果であることに注意して下さい。下図中央部を見ると信濃川両岸が隆起傾向（緑～青色系）にあることが判ります。地震発生の前兆を物語っているのかもしれません。地震予知対策技術の一つとして、PSInSAR技術の活用に向けた今後の研究が待たれるところです。